



公益財団法人

福島県体育協会

R3 福体協ニュース

令和3年9月28日 (No.21-5)

アンチ・ドーピング啓発活動について紹介します！

ドーピングは、スポーツのフェアプレイ精神に反し、競技者の健康を損ね、薬物の習慣性から社会的な害を及ぼすばかりか、人々に夢や感動を与えるスポーツそのものの意義を失わせ、国民の健康的な生活や未来を担う青少年に対して悪影響を及ぼします。そこで、本協会では、アスリートをはじめスポーツに関わる全ての人に、クリーンでフェアなスポーツマンシップとアンチ・ドーピングを啓発することを目的として、本協会スポーツ医・科学委員会と福島県スポーツファーマシスト協会の協力のもとに、様々な啓発活動を実施しています。

①アンチ・ドーピングリーフレット等の配布

本協会では、毎年 9000 部のアンチ・ドーピングリーフレットを作成し、本協会に加盟する全 57 加盟競技団体・中体連及び高体連事務局、その年の東北総体及び国民体育大会に出場する全選手、認定 AT、認定スポーツ栄養士、各種講習会でのスポーツ指導者等への配布を行っています。これらは本協会ホームページからもダウンロードできます。その他にも、JSP0 からの「使用可能薬リスト」等の関連教材の配布も行っています。



②アンチ・ドーピング相談窓口の設置

アスリートが、身近な「薬やサプリメント」等の疑問について、スポーツファーマシスト（薬剤師）に相談できるよう、県内には本協会と連携した 69 ヶ所の相談窓口があり、どなたでも気軽に電話相談することができます。連絡先等の詳細は本協会ホームページから確認できます。また、FAX での相談も受け付けています。

③アンチ・ドーピング研修会の実施

本協会では、平成 26 年から、国体種目となっている本協会加盟競技団体（41 競技団体）に対し、クリーンでフェアなスポーツマンシップとアンチ・ドーピングを啓発する目的でアンチ・ドーピング講習会を実施しています。令和 3 年度は、前年度の国体選手を対象に実施したアンケートの結果をもとに、アンチ・ドーピングの意識が低い少年種別を中心に研修会を実施することとしており、各競技団体が独自で研修会を実施する。または、本協会からスポーツファーマシスト（講師）を派遣して実施することができます。こちらも各競技団体からの依頼であれば、県内どこにでも講師を派遣することができます。

アンチ・ドーピング研修会を実施しました！

令和 3 年 8 月 19 日（木）には、福島県バレーボール協会からの依頼を受け、郡山北工業高等学校の男子バレー部員 30 名を対象に、アンチ・ドーピング研修会を実施しました。スポーツファーマシストの細田知寛氏を講師に迎え、約 60 分の講義を行いました。本協会で作成した「アンチ・ドーピングリーフレット」や日本スポーツ協会からの「アンチ・ドーピング使用可能薬リスト 2021 年版」等を活用し、主に「ドーピング検査について」「うっかりドーピングについて」「サプリメントを活用する際の注意点について」等の正しい知識について学びました。

受講後の生徒や顧問の先生の感想では、「うっかりドーピングは身近に起こり得る問題で気を付けたいと思った。」「アンチ・ドーピングについては、深く学ぶ機会が少ないため大変貴重な研修となり、今後もこうした研修の機会を作ることの重要性を感じた。今回の研修を活かし、アンチ・ドーピングへの意識を高めるとともに、フェアプレイの精神を心掛けながら今後の活動に取り組んでいきたい。」といった感想がありました。

本協会では、こうしたアンチ・ドーピング啓発に向けた取組みを今後も継続して行っています。各競技団体で、講師を派遣する研修会の実施を希望される場合は、本協会まで御連絡ください。



【講師：細田知寛 氏】

【リーフレットを活用しながら真剣に学ぶ参加者の様子】